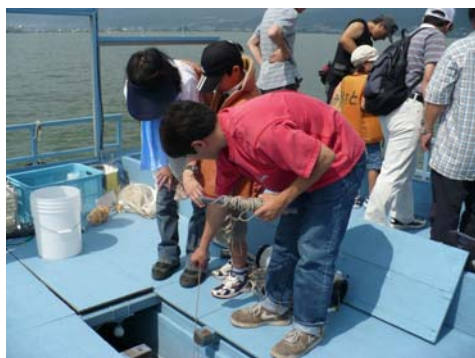


3 諏訪地域

<地域の環境特性>

- ・ 東に八ヶ岳中信高原国定公園に属する山々が連なり、南には南アルプスを望み、諏訪湖を取り巻く地域と八ヶ岳の山麓に広がる地域から成り立っています。
- ・ 諏訪湖周地域は有数の工業地域として都市化が進展しましたが、このため産業排水や生活排水の影響でアオコが発生するなど諏訪湖の汚染が進みました。
浄化対策に取り組んだ結果、湖沼の汚濁状況の指標である全リン*については、平成18年度、19年度の2年連続で環境基準が達成され、また、COD、全窒素*についても改善傾向が見られるなど、諏訪湖の水質は中長期的には改善の方向にあります。
- ・ 広大な裾野が広がる八ヶ岳山麓地域は夏期の冷涼な気象条件を生かした農業が営まれています。昭和30年代からは蓼科高原を中心に別荘地開発などが進みました。現在では白樺湖から富士見高原を経て山梨県に至る一大リゾート地帯となっており、自然との均衡がとれた開発が求められています。
- ・ 霧ヶ峰高原は江戸時代からの採草により広大な草原となっており、また、八島ヶ原湿原のような貴重な高層湿原がありますが、草原の森林化、裸地化や湿原の乾燥化が進んでいます。



諏訪湖の湖上観察会



諏訪湖の水質検査

<施策の展開>

(1) 「人と生き物が共存する諏訪湖」をめざして

- ・ 諏訪湖水質保全計画に基づき、工場・事業場などの産業排水対策や下水道の供用区域における接続の促進等の生活排水対策に加え、市街地・農地からの流出水対策など、総合的な対策を実施することにより、諏訪湖の浄化対策を推進します。
- ・ 諏訪湖の水辺整備に関するマスタープラン等に基づき、原風景に配慮した湖畔の再整備に努めます。
- ・ 水辺観察会等の環境学習や水辺に親しむ機会の提供等による上流地域としての意識の向上や、住民との協働による環境美化等を進めます。
- ・ 諏訪湖に流入する各河川において、アレチウリ等外来種の駆除など、住民と協力した生態系の保全に努めます。



霧ヶ峰高原の草原の火入れ



横河川の水生物観察会

(2) 変化に富んだ山岳・高原等の自然環境の保全

- ・ 霧ヶ峰自然環境保全協議会等を通じて、地域住民や事業者、関係者等が連携して、自然と人との共生を図り、豊かな自然環境を保全していくための自然再生等の取組を進めます。
- ・ ニホンジカによる八ヶ岳、霧ヶ峰、入笠山等の高山植物や希少種等の食害が深刻化している状況にかんがみ、植生被害対策を推進します。
- ・ グリーン・ツーリズム、エコツーリズムなど、豊かな自然を生かした体験・参加の取組や「鹿食免」を通じた鹿肉利用などの観光振興と連携した野生鳥獣対策を推進します。

(3) 産業における環境への負荷の低減

- ・ 岡谷地域公害防止計画に基づき、トリクロロエチレン等の有機塩素化合物による地下水汚染の防止を図ります。
- ・ 優れた技術力を有する産業集積を生かして、産学官の連携により、環境保全のための高度な技術の形成を推進します。
- ・ 企業、経済団体、環境保全団体等との協働による信州省エネパトロール隊の活動の推進により、各企業の地球温暖化対策を支援します。

【用語解説】

*全リン

水中に含まれる無機及び有機リン化合物中のリンの総量。

*全窒素

水中に含まれる無機性窒素及び有機性窒素の総量。